

ビリミノバックメチル・プロモブチド・ベンスルフロンメチル・ペントキサゾン剤 トップガンR (1キロ粒剤 / フロアブル)	取扱メーカー： クミカ 原体メーカー： クミカ、住友化学、クミカ、 科研製薬
成分： ビリミノバックメチル〔ビリミジニルカルボン酸系〕……0.45% (粒剤), 0.83% (フロアブル) プロモブチド〔酸アミド系〕……………9.0% (粒剤), 17.0% (フロアブル) ベンスルフロンメチル〔スルホニルウレア系〕……………0.75% (粒剤), 1.3% (フロアブル) ペントキサゾン〔オキサゾリジンジオン系〕……………2.0% (粒剤), 2.8% (フロアブル)	性状： 類白色細粒 (粒剤) 淡褐色水和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】…………… 〈共通〉

- スルホニルウレア剤に感受性が低下した、アゼナ、ミズアオイなどの一年生広葉雑草及びイヌホタルイの発生前から2葉期まで、安定した高い効果を示す初・中期一発除草剤である。
- ノビエを始めとする水田一年生雑草からホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリなどの主要な多年生雑草に高い効果を示す。また、アオミドロや藻類に対する表層はく離に対しても発生前の処理で発生を抑制する。
- ノビエに対して高い効果を示す。雑草の発生前からノビエ3葉期まで適用があるので、田植後にゆとりを持って散布できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】…………… 〈共通〉

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なのでノビエの3葉期までに、時期を失ないように散布する。
- スルホニルウレア剤に感受性の低下したホタルイ、アゼナ類、ミズアオイ等に対しては早めの処理が有効なので、ホタルイ2葉期までに散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期	
	粒剤	フロアブル
ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヘラオモダカ	2葉期まで	
オモダカ	発生始期まで	
クログワイ	発生始期まで	発生前まで
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生始期まで	
シズイ	草丈3cm まで	
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前	

- オモダカ、クログワイ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

【薬効・薬害等の注意】…………… 〈共通〉

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 直播水稲に使用する場合は以下に注意する。
 - 発芽直後の稲に対して薬害が生じるおそれがあるので、適切な覆土をおこない、稲の1葉期 (フロアブルは1.5葉期) 以降に散布する。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布する。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。

●適用作物（水稻）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】

〈共通〉

●カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

●作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換する。

●藻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

●散布後は水管理に注意する。

●散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

〈粒剤〉

●眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

〈フロアブル〉

●散布の際は不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。

〈フロアブル〉



【適用と使用法】

① トップガンR 1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ	移植時	1 kg	田植同時散布機 で施用	1回※
	セリ オモダカ クログワイ シズイ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで		湛水散布	
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで			

※ビリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※プロモブチドを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ペンシルフロンメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数：2回以内

② トップガンRフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ	移植時	500 ml	田植同時散布機 で施用	1回※
	クログワイ オモダカ シズイ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで		原液湛水散布	
直播水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	稲1.5葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで			

※ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※プロモブチドを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ベントキサゾンを含む農薬の総使用回数：2回以内